



印刷代、郵便代、ガソリン代とか、そういうものですね。4番目がエサ代です。エサのほとんどは寄付で入ってきます。

前川 ところで立ち入ったお話をしますけれども、赤字でしんどいとか、持ちだしになるとか、そういうことにはならないんですか。

オリバー 地震前は、収支のバランスはぎりぎり取れていました。

しかし今は地震で迷ったイヌたちを1年間は無料で預かっていますからね。ただ1年といっても期限がないのが今一番心配です。

地震が起こった直後には動物があちこちに逃げていたのが、これからどんどん出てきますからね。ピークはあと1〜2カ月だと思います。

前川 常駐のスタッフ以外に、いろんなボランティアの方が毎日来られるんですか。

オリバー もちろん。でも、ボランティアだけでは無理ですね。ボランティアは都合のつく時だけです。家で動物を飼っている方でも直接ふれられるまでには1カ月程必要です。

前川 常時、ボランティアとかスタッフを入れて、最低必要な人数は何人ぐらいですか。

オリバー 今、スタッフは8〜9人、あと外国人が6人ですね。それとボランティアは毎日4〜5人です。だいたい毎日10人ぐらひは必要です。それに、ずっと運転する人が要りますからね。獣医さんを毎日運ぶのと、神戸の方から動物を運びますから。

捨て犬の増加と安楽死の是非

前川 お預かりになるのは別として、捨て犬とかを、ここに持って来られたら、どんな際限なく増えていきますよね。どうされるのですか。

オリバー もし安楽死を絶対にしなかったら、当然増えます。イヌを助きたい人は多いですけども、アパートに住んでいるか

ら、動物は飼えないということもあります。里親に引き取ってもらうのが一番安心ですが、なかなか思うようにはいきません。

前川 ここでは安楽死というのはしらないですか。

オリバー しないです。安楽死のケースもありません。安楽死のケースは、病気とか、大けがとか、どうしてもかわいそうで、私もこの間、かまれました。そのケースは私のミスでした。イヌは悪くなかった。

でも、本当にかわいいますから、ボランティアの場合は皆かまれたら困るからスタッフとかボランティア皆で相談することになっています。このイヌは何回もかわいから里親を探しても、それは多分無理ということで、皆の判断で安楽死に決まります。でも、そういうケースは珍しいです。

前川 保健所の安楽死と動物福祉協会センターの安楽死は全然違うんだというようなことを言われているのを読みましたんですけれども。

オリバー 保健所は、絶対に安楽死はないです。安楽死というのは、獣医さんに連れていって、血管に麻酔みたいなものを打ち、そして眠ってしまう。それが安楽死です。

保健所の処分はガスとか電気です。でも、ほとんど処分しないで、実験動物に売ります。

前川 こういう施設は、日本中にいくつぐらいあるんでしょうか。

オリバー ほとんどないです。関西には動物福祉協会センターがあります。そこはすごく数多くて、年に1万匹ですね。でも、ほとんど安楽死です。それしかないわけなんです。

でも、批判者は多いです。しかし、1万匹もいたら経済的な問題もありますし、スペースとかで何もできないからね。

イギリスでは鎖でつなぐと虐待になる

前川 欧米先進諸国と日本の小動物の飼



方みたいなので、ものすごく違うなと思われる点は何ですか。

オリバー 1つは、イギリスの方は動物は家族の一員なんです。そして、ほとんど家の中で飼っています。そして、ここに入っているイヌみたいに、あまり吠えないです。こういう動物はみんなすごく虐待されている動物、捨て犬でしてね。

前川 ということは、イギリスでは、捨て犬のたぐいというのは、まずないと見ていいわけですか。

オリバー いえ、あります。

しかし、イギリスでは保健所はないですが、システムがありますから、捨て犬を見て電話をしたら、すぐいろんな団体のどれかが取りに行きます。24時間の既合とかが全国にありますし、指導員も全国で400人おられます。日本ではイヌを短い鎖でつないでいますが、あれはイギリスでは虐待になります。指導員がすぐに取りに来ます。

前川 ほとんどの家庭でお飼いになる場合、去勢したり不妊手術をするわけですか。

オリバー ほとんどしますね。純粋とかは別として、雑種の方は当然のことですね。

前川 すると、外で飼うイヌをつないでおくケースというのはほとんどないんですか。オリバー ほとんどないです。牧場とかの番犬は、2畳ぐらいの檻がありまして、時々つないでいるみたいです。でも、家ではつ